

令和7年度 自己評価公表シート

幼稚園型認定こども園 石橋文化幼稚園

(沿革・理念)

石橋文化の「文化」＝カルチャー

地域の方々が気軽に集える場所として、地域の成長に貢献できることはないかという、設立者、高橋定一の考えのもと、地域の方々が安心して子育てできる環境を整えるということを地域貢献と捉え、昭和23年に開園した地域に根差した、昔ながらの幼稚園です。

1. 教育・保育目標

養護の行き届いた環境のもとで、年齢に応じた生活習慣を身に付け、個性に応じた保育を行い、小学校との接続を意識した一体的な教育・保育を推進することを目的としています。

2. 学校評価の具体的な目標と計画

ゆとりある人員配置により役割を明確にすることで目の行き届いた保育を行い、研修時間を確保することで保育の質の向上に努める。園児の認定区分にかかわらず教育の提供を推進し、1号認定児を含めた教育時間外の保育に積極的に取り組み、地域の保育需要の受け皿となるよう、その体制確保に努めています。

3. 評価項目と取組状況

評価項目	取組状況
関係法令等を遵守し、全体的な計画のもとに、園の教育・保育方針に従い編成する。	外部研修等を活用しながら、園を取り巻く状況を把握し、教育、保育環境の改善に努めることができました。
教育要領、教育課程、子どもの実態などをもとに指導計画を作成する。	子どもの実態に即した指導計画を作成し、計画的に指導を行うことができました。
子どもの実態に応じて具体的な手立てを講じる。	段階的な目標設定を行い、達成度合いに応じて、週案及び月案に反映することができました。
工夫すること、協力することを、遊びを通して伝える。	主体的に、遊びの中で工夫すること、協力して行うことを促すように努め

	ることができました。
規則正しい生活習慣が定着するように指導を行う。	身に付けるべき生活習慣を、一日の流れの中で反復して行うことで定着を促し、歳児に応じた成果が得られました。
安全面に配慮した施設づくりを行う。	建物・設備・遊具等の安全点検を励行しています。また、災害、不審者等への日常的な危機管理を、避難訓練等を通して周知しています。
健康な身体づくり、運動感覚を養う。	多様な体育活動を行い、心身ともに健やかに育つよう努めています。

4. 取組状況に対する考察

自己評価の取り組みにより課題を洗い出し、目標に対しての進捗を精査し次期に活かすという考え方のもと、個々の内容について取り組むことができました。

一方で自己評価の取り組みにとらわれすぎず、形式的にならないように努め、園生活を通じて子どもたちがどのように成長したかを重視し取り組んでいきます。

5. 今後の取組

課題	具体策
情報公開	「現状をより詳しく」を目標に取り組めます。
点検、評価方法	評価体制の確立を目指します。
指導計画	子どもの実態に即して作成します。

6. 財務状況

公認会計士の監査により、適正に運営されていると認められております。